

H29 奥山小学校 健康・安全向上プラン

P(計画)

D(実施)

C(評価)

A(改善)

説明責任

自己評価

【児童の健康・安全に関する状況】

項目	優れている点	伸ばしたい点
バランスのよい身体能力	・校内マラソン大会やなわとび記録会に向けて、自主的に体力づくりに励む姿がよく見られる。	・個々の運動経験の差や、運動経験のバランスの偏りの解消
健康な生活習慣	・朝食摂取率が高い。 ・スポーツ振興センターにかかるような大きなけがは少ない。	・早寝、早起きの習慣化 ・健康診断後の治療率
安全に対する意識	・避難訓練では、静かに迅速に行動し、安全に避難をすることができる。	・安全な登下校の仕方の徹底

【達成目標】

- ・朝運動、業間運動を効果的に活用し、児童への意欲付けを行いながら、様々な運動経験を増やす。
なわとび検定 各学年の目標級への達成率 80%
マラソンカード 各学年の目標周への達成率 95%
- ・健康な生活習慣への意識の向上と定着を図る。
健康診断後の治療率 90%以上 歯科保健指導などの保健行事の実施 100%
- ・児童の防災、防犯に対する意識を計画的に高め、実践力も身に付けさせる。
避難訓練、防災訓練、防犯教室の着実な実施 100%

【健康・安全向上に向けての取り組み】

- ・教科体育において、めあて学習を基本としながら、知識や技能を効率よく教え、身に付けさせる授業展開を工夫する。
- ・校内マラソン大会、なわとび記録会などの行事を実施し、カードを活用したり、上位入賞者の表彰を行ったりすることにより、進んで運動を行うことへの意欲化を図る。
- ・年間を通してサーキットトレーニングに取り組み、バランスの良い体力づくりに取り組む。
- ・学期ごとの保健目標達成に向けた取り組みを工夫し、保健指導、学校保健委員会、児童健康委員会活動の充実を図る。
- ・地域の専門家を講師に迎えた健康教育を計画的に進める。
- ・避難訓練や防犯教室の事前、事後指導を充実させ、訓練の意義をきちんと意識させ、実際の災害時や緊急時に落ち着いて行動できる心構えを育てる。
- ・交通安全リーダーと語る会や地区別児童会において、現在の状況や課題について確認し、高学年が中心になって、子供自身が交通安全に対する意識をもって登下校できるように指導する。

【バランスのよい身体能力に関する評価】

校内マラソン大会やなわとび記録会など、それぞれの大会に向けて子供たちが自主的に取り組んでいる姿がよく見られた。なわとび記録会では、その成果が十分に発揮され、昨年度よりも記録の向上が見られた。新体力テストでは、課題であった投力の向上が見られた。しかし、今年度は柔軟性での低下が見られた。

【健康な生活習慣に関する評価】

朝食摂取率は本年度も高かった。また、大きなけがをしたり、大きな病気にかかったりした子供もいなかった。家庭において、夜遅くまで起きていて、きちんとした生活リズムで過ごすことができない子供がいた。

【安全に対する意識に関する評価】

教師の指示に従い、落ち着いて行動することができ、避難訓練でも素早く安全に避難をすることができた。しかし、自分の身は自分で守ろうとする意識が高学年でも低く、大人や教師がいない場面でも、落ち着いて安全な行動をとることができるのか不安な一面もある。

【改善策】

子供たちが目標を持って運動に取り組める環境作りに努める。結果だけでなく、過程が大切であることを伝え、自分なりの目標を立てさせ達成できたときには大いに称揚していく。体育の授業や業間を使い、バランスの良い体力づくりを目指し、柔軟性や投力の向上に努める。

【改善策】

大きなけがや病気の予防に配慮し、児童への啓発を行うと共に、引き続き校内の安全整備を進める。家庭と連携しながら、家庭内での生活リズムの改善に努める。保健便りなどで生活リズムを整えることの大切さを示し、保護者にも協力を呼び掛け学校、家庭の両面から指導を行うようにする。

【改善策】

予告なしの避難訓練、がけ崩れ等の想定外の場面など、いろいろなパターンでの訓練を実施し、子供が自分で判断し安全な行動をとることができるようにさせる。また、防災週間の際には、過去の災害の様子を伝え、自分たちなら同じような場面でもどのように行動をすればいいのかわ、発達段階に応じて指導していく。

学校関係者評価

- ・苦手な運動にも積極的に取り組み、体力の向上に努めることができる子供たちになってほしい。
- ・早寝早起きに関しては、家庭の協力を得ながら身に付けさせるとよい。
- ・子供たちが、好き嫌いなくバランスのよい食事を行うことができているのでこのまま継続してほしい。
- ・子供たちに様々な経験をさせ、自分でしっかり考えて安全に行動できるようになってほしい。

改善策

- ・一人一人の体力の向上を目指していくために、子供たちが興味関心をもって意欲的に様々な運動に取り組むことができる環境設定を工夫する。
- ・子供たちの生活習慣の確立を図るため、懇談会や各種便りなどを通して家庭との連携をより深める。
- ・一人一人が適切な判断をし身を守ることができる力を養うために、いろいろな場面を想定した訓練を実施する。